

資料 2 景観特性と景観形成の方向性について

4つの景観構造別 景観特性と景観形成の方向性

文献・データ調査

○上位/関連計画

- ・第6次総合振興計画
- ・都市計画マスタープラン
- ・行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画
- ・景観形成基本計画など

○これまで実施した景観関連施策

○文献・データ

- ・自然田園  
地形、植生、農業の歴史 等
- ・歴史文化  
古代、中世、近世、近現代の歴史 等
- ・まち並み暮らし  
都市計画基礎調査、建築確認申請数/開発許可件数 等
- ・人の営み  
イベントカレンダー、パンフレット等

○心象的景観

市歌校歌、ぎょうだ郷土かるた、創作物

参考資料 1

まち並み調査

○まち並み調査

- ・まち並みの特性、固有の資源
- ・建築物・工作物、屋外広告物
- ・大規模建築物、太陽光発電パネル、ヤード 等

○色彩調査

- ・建物の屋根や外壁
- ・工作物、屋外広告物
- ・大規模建築物 等

資料 2-1

市民等の意識調査

○市民アンケート調査

- ・景観への評価、景観づくりへの参加状況や意欲、重点的に取り組むべきエリアや内容 等

○団体アンケート調査

- ・景観への評価、活動状況や課題

○市民ワークショップ

- ・地域の景観について  
(すきな景観、もったいない景観)
- ・取組みの方向性について

前回委員会資料 2/資料 2-2

人の営み

主な対象：祭礼等の地域行事や祭礼、美化・緑化など景観を守り・育む活動



祭礼、イベント



市民や団体、企業等の活動



店先や家先のしつらえ

景観特性：まちに彩りをもたらす活動や関わりがつくる景観

- 地域で受け継がれた祭礼・行事や市内外から人が集まるイベントなど新旧両方の活動によりにぎわい景観が創出されている(アンケートで若い世代からも高評価/ワークショップ意見「新旧どちらもイベントや祭礼があるのが素晴らしい」)
- 足袋蔵などの歴史資源や河川環境の保全活用、道路・公園等の美化清掃など、市民や団体等の活動により景観がつけられている(ワークショップ意見「人の活動を大事にしたい」)
- 店先や家先のしつらえが、住民等の楽しみにもなっており、通りの潤いある景観をつくっている(アンケートで地域や自宅周辺の清掃、花・みどりの手入れについて多くの回答あり)

景観形成の方向性(課題を含む)

- 既存の取組を持続的なものとするための支援・仕組みづくり(次世代への継承、優良事例の発信、交流イベント等)(アンケートで課題意識あり/ワークショップ意見「維持・管理の継続が困難、担い手不足」)
- 市民等と行田市固有の景観資源を掘り起こし、磨き上げる取組
- 市民等の身近な景観づくりを支援する取組(家先の緑化、花手水等)
- 景観学習の実施など市民の愛着の醸成(アンケートで期待大)
- 営みも含めた景観の魅力の市内外への発信、環境的価値の訴求

まち並み・暮らし

主な対象：近代以降に形成された市街地や道路等の都市施設



住宅系市街地



商業系市街地(駅周辺)



工業系市街地



道路



公園



公共施設など

景観特性：住・商・工の市街地によるまとまりのある景観

- 行田市駅周辺では、レトロな雰囲気は評価されているものの、駅前空間としての賑わい、駅舎の清潔さ、緑の豊かさ等に課題がある。JR 行田駅は整備された空間を活かした賑わいの創出に課題がある(アンケートで低評価・問題とを感じる景観として頻出/ワークショップ意見「駅・駅周辺の景観がいまいち、賑わいや緑、周辺へのアクセスの不足」)
- 土地区画整理事業で面整備された持田/西新町地区では、緑の潤いのある良好な住環境が形成されているなど、事業手法や建築年次等の違いにより一定のまとまりを持った、落ち着いたある住宅地景観が形成されている
- 商業地は城下町、足袋のまちとして発展したまちなかを基盤としたコンパクトな低中層市街地となっており、歴史・文化の礎と、明治以降の新旧の市街地や公共施設等の都市施設が混在するまち並みが特徴となっており、市民の暮らし、来訪者の観光交流の拠点エリアである(アンケートで低評価、魅力を感じない)
- 産業団地や地区計画の定められた工業地では、街路樹と敷地内緑化が一体となり、緑豊かな工業地景観が形成されているなど、住工の調和、工業地景観の誘導が図られている
- 忍川など河川水路沿いの桜並木、水城公園前のイチヨウ並木、大規模な公園などが特徴的な景観を形成している(アンケートで高評価、魅力を感じる/ワークショップ意見「個性ある環境、市民生活との近さに愛着が生まれている」)

景観形成の方向性(課題を含む)

- 商業系(アンケートで重点的に進めるべきエリアとして多くの回答「JR 行田駅周辺」「行田市駅前や商店街」/ワークショップ意見「整備された空間を活かしたい」)
- ・行田市駅や JR 行田駅など駅周辺の修景、にぎわいのあるまち並みの形成、安全で快適な歩行者空間、滞留空間の創出
- ・まちなかの拠点や観光資源(忍城址周辺と八幡通りなど)、まちなかと周辺の拠点(古代蓮の里や埼玉古墳郡など)を結ぶ取組
- 住宅系：
  - ・落ち着いた色彩、規則性のある形態の住宅地の維持・誘導、緑豊かな外構など家先の景観づくり
  - ・近隣公園や集会所など身近なコミュニティ拠点の景観づくりの推進
- 工業系：富士見産業団地や行田みなみ産業団地など良好な工業地景観の維持・誘導、敷地内の植栽、道路、公園等の維持管理(アンケートで低評価、魅力を感じない)
- その他
  - ・公共施設(アンケートで低評価、魅力を感じない)や都市公園の整備改修を機会とした行田らしい景観の創出
  - ・景観形成上重要な公園や街路樹における地域参加による維持管理

主な対象：自然的条件や時代背景により形成された遺跡や城・街道・継承された資源等

歴史・文化



足袋蔵、足袋工場



忍城址、城下町



石田堤



古墳、遺跡



寺社仏閣、祠堂

景観特性：古代から現代にいたる多層的な歴史文化が息づく景観

- 古墳や遺跡は市民に親しまれるランドマークとなっている。特に埼玉古墳群、古代蓮の里は観光客が訪れる本市を代表する地域資源となっている（アンケートで高評価、魅力を感じる／市歌校歌に頻出／ワークショップ意見「古墳やタワー頂上からの眺め、周辺の自然、夕焼けなど古墳がある風景」）
- 再建された忍城址と城下町、水城公園などの周辺は歴史的シンボルであり、交流や憩いの場・ハレの舞台となっている（アンケートで高評価、魅力を感じる・好きな景観として頻出／市歌校歌に頻出・創作の舞台、ワークショップ意見「浮き城の径などの忍城周辺の風景」）
- 城下町の町割りや旧街道、水路の痕跡などが残り、複雑で面白いまちなみとなっている（ワークショップ意見「鍵の手や暗渠など計画された道筋と自然発生的な路地が合わさった複雑さ、歩いて楽しむ魅力」）
- 足袋蔵・足袋工場はまちなかの重要な歴史的資源となっている（ワークショップ意見「足袋蔵は行田市の大事な景観資源」）

景観形成の方向性（課題を含む）

- 行田市駅・忍城址周辺のまちなかエリアは、重点的に景観形成に取り組むエリアとして目指す姿を描き、景観ルールや景観整備事業、市民等の担い手と協働したマネジメントを推進（アンケートで重点的に進めるべきエリアとして多くの回答「足袋蔵が点在する界わい」「行田市駅前や商店街」「忍城址周辺」／注力すべきこととして「忍城址や寺社など歴史的建造物の保全活用」「空き家や空き店舗の適正管理や有効活用」／ワークショップ意見）（アンケートで必要なルールとして「歴史的な建造物等を保存するルール」）
- さきたま古墳公園、古代蓮の里は、資源を適切に保全し、周辺の景観をエリアにふさわしいものへ誘導（アンケートで重点的に進めるべきエリアとして多くの回答「さきたま古墳」、注力すべきこととして「古代の歴史的資源を保存活用」）（ワークショップ意見「さきたまテラスなど施設の設え、人を呼び込む工夫が必要」）
- 足袋産業に関する歴史的資源の保全・活用の推進（ワークショップ意見「活用されていない足袋蔵はもったいない、一時的なことからも始められるとよい、その他活用に関する意見多数」）

主な対象：景観の基盤となる自然的条件と農地等田園的要素

自然・田園



河川、用水



農地と集落



土木構造物、中条堤



公園、街路樹



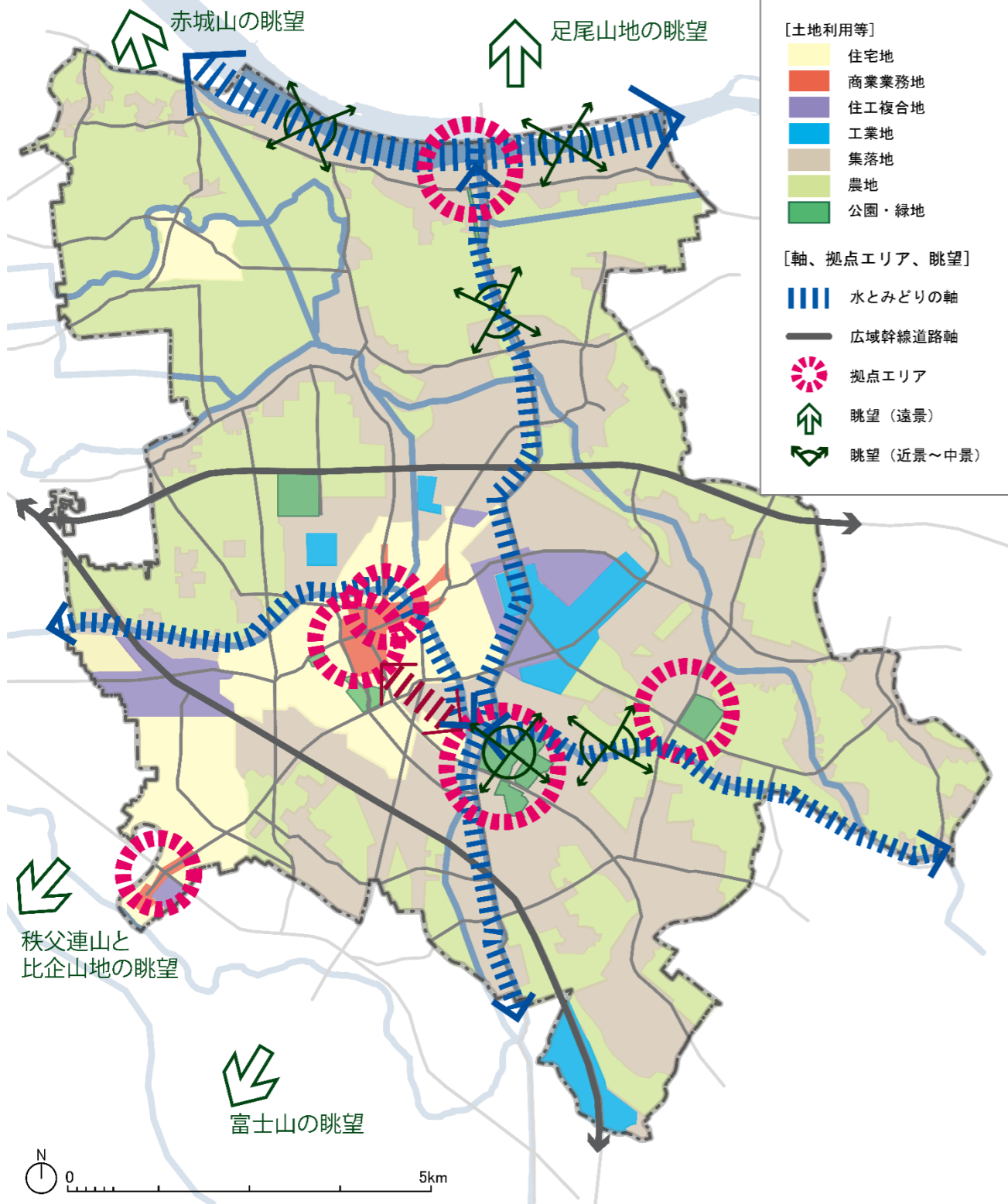
景観特性：地域の発展を支えてきた水と農の景観

- 利根川と荒川に育まれたのびやかな田園風景とそれら農地越しにみえる秩父連山や赤城山、富士山などの山々（アンケートで好きな景観に頻出／市歌校歌に頻出／ワークショップ意見「田園地帯の視界の広がり、田畑越しの山々」）
- 河川や用水路沿いに整備された親水護岸や緑道は水辺景観を形成し、イベントや憩いの場、サイクリング等活動の場となっている（ワークショップ意見「サイクリングロードは市内外で好評」）
- 歴史を物語る土木構造物（橋・水門など）が多く点在している（ワークショップで意見多数「数多く残る歴史ある用水や橋梁」）
- 二毛作による彩りが美しい農地と屋敷林の残る集落が点在している（市歌校歌に頻出）
- 古代蓮の開花や花手水の取組など四季折々の花木が市民の潤いとなっている
- 水城公園やさきたま古墳公園など、歴史に親しみを感じる個性ある公園が市街地に近接して点在している（アンケートで好きな景観として頻出／ワークショップ意見「個性ある環境、市民生活との近さに愛着が生まれている」）

景観形成の方向性（課題を含む）

- 山々の眺望景観の保全、眺望ポイントの整備
- 利根大堰周辺エリアの魅力化・拠点性向上
- 水辺空間の整備（親水護岸や緑道、サイクリングロード等）、維持管理・活用のマネジメント（アンケートで重点的に進めるべきエリアとして多くの回答「河川水路」／ワークショップ意見「サイクルラックの充実、新たなコース設定、生態系の豊かさ、桜並木などの維持管理やPR」）（アンケートで低評価、魅力を感じない）
- 土木遺産（橋・水門など）の保全・活用（ワークショップ意見「維持・保全、景観資源としてのPR、周辺も含めて親水空間としての整備」）（アンケートで低評価、魅力を感じない）
- 田園景観や自然豊かな公園と調和しない建築物やヤード、太陽光パネル等の規制・誘導（アンケートで必要なルールとして「資材置き場やヤード」／ワークショップ意見「太陽光パネル、使われていない農地の管理」）
- 屋敷林や社寺林など、特徴的な景観の保全

### 骨格となる景観



### 身近な景観

